

1. 科目名 (単位数)	カリキュラム論 (2 単位)	3. 科目番号	JNNT2418								
2. 授業担当教員	鈴木 美子										
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・ 他科目との関係											
7. 講義概要	子どもの心と育ちを促すための教育とはどのようにあればよいのでしょうか。日々の教育計画の作成、実施の在り方、記録および省察や評価の方法を学び、子ども一人ひとりに即しつつ、上級学校につなげるための教育の実践能力を培っていきます。										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育課程の基本的な理解を図る。</li> <li>2 教育課程と指導計画との関係を理解する。</li> <li>3 長期、短期の指導計画の立て方が分かり、作成することができるようになる。</li> <li>4 計画と実践、反省評価の関係が分かる。</li> <li>5 カリキュラム・マネジメントの意義と実際を理解する。</li> <li>6 指導要録と就学期の連携について理解する。</li> </ol>										
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	長期指導計画 (期案や月案) を作成し、長期の見直しをもつ眼を養います。 実践事例から、次の計画を作成し、幼児理解と具体的な援助や環境構成を計画する在り方を学びます。										
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 小田豊・神長美津子監修『教育課程論』光生館。</p> <p>【参考書】 文部科学省『幼稚園教育指導資料第1集 指導計画の作成と保育の展開』フレーベル館。 汐見絵幸・無藤 隆監修『保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント』ミネルヴァ書房。</p> <p>【参考資料】 幼稚園教育要領 (平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p>										
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育課程の基本が分かり、指導計画との関係を理解できるようになる。</li> <li>2. 長期、短期の指導計画の作成の仕方が分かり、実際に行えるようになる。</li> <li>3. 計画と実践、反省評価の関係を理解できるようになる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、グループワークで協働する姿勢、提出物を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の25%</td> </tr> <tr> <td>2 日常の受講態度</td> <td>総合点の25%</td> </tr> <tr> <td>3 グループワークで協働する姿勢</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4 提出物</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table> <p>本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることに配慮する。</p>			1 授業への積極的参加	総合点の25%	2 日常の受講態度	総合点の25%	3 グループワークで協働する姿勢	総合点の20%	4 提出物	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の25%										
2 日常の受講態度	総合点の25%										
3 グループワークで協働する姿勢	総合点の20%										
4 提出物	総合点の30%										
12. 受講生への メッセージ	子ども一人ひとりとは違って個性があり、保育は保育者の捉え方ひとつで大きく変わります。一人ひとりをとにかくよく見てその子・その子たちに添った保育が実現できるように工夫し、それが本当に適切であったかを確かめながら進められる力をつけましょう。										
13. オフィスアワー	後日通知する。										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第1回	授業ガイダンス カリキュラムとは何か 保育における計画の意義	事前学習	教科書の該当ページ (第1章) を読んでおく。								
		事後学習	カリキュラム、保育における計画の意義についてまとめる。								
第2回	幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所 における様々な保育の計画、幼稚園教育要 領改訂の歴史的社会的背景と主な内容	事前学習	各施設にはどのような保育の計画があるか調べておく。								
		事後学習	要領改訂のポイント、各施設の保育計画とその歴史的社会的背景を整理する。								
第3回	小学校教育における教育課程、教育方法と 幼児教育・保育における教育課程、全体計 画	事前学習	小学校教育と幼児期の保育との違いや共通点を調べる								
		事後学習	学びの連続性や系統性と幼児の生活について理解する								
第4回	幼稚園の教育課程、幼稚園・幼保連携型認 定こども園・保育所の全体計画	事前学習	幼稚園の教育課程、各施設の全体計画について調べておく								
		事後学習	幼稚園の教育課程をまとめる。各施設の全体計画を整理してその構造を理解する。								
第5回	指導計画—長期の指導計画	事前学習	長期の指導計画にはどのようなものがあるか調べておく。								
		事後学習	指導計画と全体計画、教育課程との関係について理解する。								
第6回	指導計画—短期の指導計画	事前学習	短期の指導計画にはどのようなものがあるか調べておく。								
		事後学習	長期と短期の指導計画の関係について理解する。								
第7回	実践事例から考える—子どもの姿のとらえ—	事前学習	事例を読み自分のとらえをまとめておく。								
		事後学習	子どもの姿から内面をとらえ理解する。								
第8回	実践事例から考える—援助を考える—	事前学習	内面理解から具体的な援助を考えまとめる								
		事後学習	保育の連続性を見据えて先を見通した保育における援助を理解する。								
第9回	保育の反省・評価	事前学習	保育の反省・評価のしかたを調べておく。								
		事後学習	事例の反省 (演習課題) をまとめておく。								
第10回	カリキュラム・マネジメント	事前学習	保育の計画—実践—反省—計画の関係を調べておく。								
		事後学習	保育はどのようなサイクルで積み上げるかまとめる。								
第11回	月案の作成 —作成内容と方法の理解—	事前学習	月案作成のプリントを読んでおく。								
		事後学習	〇月の月案を作成する。								

第12回	月案の作成 —1年間の見通しをとらえる—	事前学習	グループ毎に分担を決め1年間分の月案を作成しておく。
		事後学習	月案作成に必要なことや重点、1年間のすじみちをまとめ、発表準備をする。
第13回	月案の発表	事前学習	発表の準備をしておく。
		事後学習	発表からの学びをまとめる。
第14回	小学校との連携と指導要録	事前学習	指導要録とはどのようなものかを調べておく。
		事後学習	指導要録等の作成の在り方についてまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	本科目の学びを整理し、保育専門職としての力をまとめておく。
		事後学習	指導計画を提出する。